



2026年2月25日

各 位

会 社 名	株式会社 フジクラ
代 表 者 名	取締役社長CEO 岡田 直樹
(コード番号)	5803 東証プライム市場)
問 合 せ 先	執行役員 経営企画室長 浜砂 徹 (TEL. 03-5606-1112)

繰延税金資産及び繰延税金負債の計上に関するお知らせ

当社は、当社の連結子会社であるFujikura Europe (Holding) B.V. (以下「FEH社」とする。)を清算することを決議いたしました。これに伴い、2026年3月期個別及び連結財務諸表において繰延税金資産を計上する見通しとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、連結子会社から当社への配当方針の変更を決定したことに伴い、2026年3月期連結財務諸表において繰延税金負債を計上する見通しとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、欧州自動車事業の製造拠点であるFujikura Automotive Europe S.A.U.の中間持株会社であるFEH社を、出資関係の明瞭化及び費用削減を目的として、清算することを決議いたしました。

清算決議に伴い、2026年3月期個別及び連結財務諸表において、FEH社への投資に係る将来減算一時差異に対する繰延税金資産を105億円計上する見通しです。これは税務上、清算結了時に同投資に係る損失が実現することによる減税効果を反映したものです。なお、会計上の同投資に係る損失は、過年度の個別及び連結財務諸表において認識しており、本清算決議による新たな損失計上はありません。

2. 繰延税金負債の計上について

海外事業が急拡大している状況を踏まえ、当社は、グループ価値最大化を最優先とする方針のもと、当社グループの資金効率化の観点から、連結子会社から当社へ資金を集約させることを目的に、連結子会社から当社への配当方針の変更を決定いたしました。

当該変更に伴い、連結子会社の留保利益に対して、当社が将来の配当受取時に負担することになる税金の額を、2026年3月期連結財務諸表において、繰延税金負債として77億円計上する見通しです。

3. 今後の見通し

上記、繰延税金資産及び繰延税金負債の計上による、親会社株主に帰属する当期純利益への影響額は、現時点において28億円であり、2026年3月期通期連結業績予想に与える影響は軽微であると見込んでおります。

なお、今後開示すべき事象が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上